

事前評価調書

I 事業概要						
所管課	森林管理課		事業実施課	森林管理課		
事業名	復旧治山事業			予定工期 令和3年度～7年度(5年間)		
地区名	奥間地区	市町村名	中城村	事業主体 沖縄県		
事業費	458,474 千円		補助率等	国90%、県10%		
整備数量	法枠工880m ² 、鉄筋挿入工192本、ホーリング暗渠工240m、水路工245.0m、杭工、77本、谷止工2基					
「沖縄21世紀農林水産業振興計画」における位置づけ	基本項目	6	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備			
	具体項目	(2)	自然環境に配慮した森林・林業の基盤整備			
	具体施策	イ	森林の保全			
個別整備計画等の内容	うまんちゅの森づくり(沖縄県森林・林業アクションプラン) 第3章 3-(1)多様で健全な森林の保全、第5章(1)-⑤-ア					
事業概要	当該箇所は、奥間集落の上部に位置しており、豪雨により度々斜面崩壊が発生し、その土砂が下流に流出する被害も出ている。そこで、山腹斜面及び溪流の安定を図ることにより人命・財産の保全を図る。					
II 評価						
①事業の必要性・効果	(1) 必要性	当該箇所では平成29年に山腹崩壊が発生し、土石流となって人家への被害が生じている。また令和3年6月の豪雨の際には複数箇所の山腹崩壊が発生し、溪流に不安定土砂が堆積している状態である。今後の豪雨等により直下にある集落への被害が危惧される。				
	(2) 効果	本事業の実施により、県民の人命・財産の保全が図れる。				
	地元の要望及び調整状況	地元からの要望もあり、村役場、区との調整も済んでいる。				
	判定	A	A: 現状の課題等から事業実施の必要性があり、地元の受け入れ体制も確立している。 B: 現状の課題等が十分把握されていない。または地元の受け入れ体制が確立していない。			
		【理由】 本事業により、山地災害の防止を図り、地元住民の人命・財産が保全される。地元との調整も行っている。				
②事業の費用対効果等	(1) 費用対効果(単位:千円)	効果項目	効果額	概要		
		災害防止便益	698,035	治山事業を実施しない場合の山腹崩壊、土石流、地すべり等による災害発生による想定被害額を算定し、これを便益として評価する。		
		合計	698,035	基準年: 令和3年度	評価期間: 50年	
		総便益B	698,035	B/C	1.69	計算式 698,035/413,184=1.69
		総費用C	413,184			
	(2) 費用対効果未記載の理由	-				
	判定	A	A: 十分な事業効果が期待できる。 B: 十分な事業効果が期待できない。			
		【理由】 費用対効果結果から当該事業実施は妥当である。				

③事業の実効性	(1) 事業計画 (予定)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>測量</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費(千円)</td> <td colspan="4">458,474</td> </tr> </table>						R3	R4	R5	R6	R7	工種区分	測量	←→				工事		←		→											総事業費(千円)		458,474			
		R3	R4	R5	R6	R7																																	
	工種区分	測量	←→																																				
工事			←		→																																		
総事業費(千円)		458,474																																					
(2) 関係機関等との調整状況	中城村及び奥間区との調整は実施済み																																						
判定	<p>A A: 事業計画の実効性が期待できる。 B: 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 事業実行に必要な保安林指定の同意は完了している。</p>																																						
④自然環境への配慮等 (加点対象項目)	(1) 自然環境への配慮	自然回復の図れる工法を検討する。																																					
	(2) 多面的機能の維持等	森林は、生物多様性保全、地球環境保全、土砂災害防止、土壌保全、水源かん養、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、物質生産機能等多面的機能を有しているため、その維持が図れる。																																					
	(3) 防災・減災効果等	山地災害防止機能の強化が図れる。 災害発生時に地元住民の生命の安全が期待できる。																																					
	(4) 第三者の意見聴取	特に該当無し。																																					
	(5) コスト縮減の取組	木材資材の利用によりコストの1/2の削減が期待できる。(メーカー調べ) 既設谷止工の機能強化を行うことでコスト削減が期待できる。																																					
	(6) 事業内容の先導性	事業内容はモデル的要素を含まない。また、他施策への関連がない。 本事業は、従来工法により実施する。																																					
Ⅲ 評価結果																																							
評価結果	判定	<p>A A: 事業実施が妥当である。:上記①～③の評価ですべてA判定であるもの。 B: 上記以外のもの。</p> <p>【理由】 上記①～④の評価で全てA判定であることから当該事業実施は妥当である。</p>																																					

事前評価調書

I 事業概要					
所管課	森林管理課		事業実施課	森林管理課	
事業名	緊急予防治山事業			予定工期 令和4年度～6年度(3年間)	
地区名	古我知地区	市町村名	名護市	事業主体 沖縄県	
事業費	154,454 千円		補助率等	国90%、県10%	
整備数量	補強土工1,450㎡				
「沖縄21世紀農林水産業振興計画」における位置づけ	基本項目	6	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
	具体項目	(2)	自然環境に配慮した森林・林業の基盤整備		
	具体施策	イ	森林の保全		
個別整備計画等の内容	うまんちゅの森づくり(沖縄県森林・林業アクションプラン) 第3章 3-(1)多様で健全な森林の保全、第5章 (1)-⑤-A				
事業概要	当該箇所は、直下に人家がある山腹斜面に位置し、急傾斜斜面であり、滑落崖が確認できる。そこで、山腹斜面の安定を図ることにより人命・財産の保全を図る。				
II 評価					
① 事業の必要性・効果	(1) 必要性	当該事業箇所は、名護市字古我知地区の山腹斜面に位置する。当該箇所では過去に一部山腹崩壊が発生し、平成22年度に治山事業を実施しているが、その周辺範囲においても近年滑落崖が確認され、地すべり性の小崩壊が発生している。斜面直下には人家及び道路があり、今後豪雨等により被害を受ける危険性が高い。			
	(2) 効果	本事業の実施により、県民の人命・財産の保全が図れる。			
	(3) 地元の要望及び調整状況	地元から要望があり、区長との調整も済んでいる。			
	判定	A	A: 現状の課題等から事業実施の必要性があり、地元の受け入れ体制も確立している。 B: 現状の課題等が十分把握されていない。または地元の受け入れ体制が確立していない。 【理由】 本事業により、山地災害の防止を図り、地元住民の人命・財産が保全される。地元との調整も行っている。		
② 事業の費用対効果等	(1) 費用対効果(単位:千円)	効果項目	効果額	概要	
		災害防止便益	190,330	治山事業を実施しない場合の山腹崩壊、土石流、地すべり等による災害発生による想定被害額を算定し、これを便益として評価する。	
		合計	190,330	基準年: 令和3年度 評価期間: 50年	
		総便益B	190,330	B/C 1.47	計算式 190,330/129,213=1.47
		総費用C	129,213		
	(2) 費用対効果未記載の理由	-			
判定	A	A: 十分な事業効果が期待できる。 B: 十分な事業効果が期待できない。 【理由】 費用対効果結果から当該事業実施は妥当である。			

③事業の実効性	(1) 事業計画 (予定)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">R4</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">R5</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">R6</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">工 種 区 分</td> <td style="text-align: center;">測量</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事</td> <td style="text-align: center;">←</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">総事業費(千円)</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">154,454</td> </tr> </table>						R4	R5	R6			工 種 区 分	測量	←→				工事	←	→													総事業費(千円)		154,454			
		R4	R5	R6																																			
	工 種 区 分	測量	←→																																				
		工事	←	→																																			
総事業費(千円)		154,454																																					
(2) 関係機関等 との調整状 況	名護市、古我知区との調整は実施済み。																																						
判 定	A	A: 事業計画の実効性が期待できる。 B: 事業計画の実効性が期待できない。																																					
	【理由】 事業実行に必要な保安林指定の同意を取得している。																																						
④自然環境への配慮等 (加点対象項目)	(1) 自然環境への配慮	自然回復の図れる工法を検討する。																																					
	(2) 多面的機能の維持等	森林は、生物多様性保全、地球環境保全、土砂災害防止、土壌保全、水源かん養、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、物質生産機能等多面的機能を有しているため、その維持が図れる。																																					
	(3) 防災・減災効果等	山地災害防止機能の強化が図れる。 災害発生時に地元住民の生命の安全が期待できる。																																					
	(4) 第三者の意見聴取	特に該当無し。																																					
	(5) コスト縮減の取組	特に該当無し。																																					
	(6) 事業内容の先導性	事業内容はモデル的要素を含まない。また、他施策への関連がない。 本事業は、従来工法により実施する。																																					
Ⅲ 評価結果																																							
評価結果	判 定	A	A: 事業実施が妥当である。:上記①～③の評価ですべてA判定であるもの。 B: 上記以外のもの。																																				
	【理由】 上記①～④の評価で全てA判定であることから当該事業実施は妥当である。																																						

事前評価調書

I 事業概要					
所管課	森林管理課		事業実施課	森林管理課	
事業名	緊急予防治山事業			予定工期 令和4年度(1年間)	
地区名	渡嘉敷地区	市町村名	渡嘉敷村	事業主体 沖縄県	
事業費	27,500 千円		補助率等	国90%、県10%	
整備数量	落石防護柵工(設置・撤去)176.2m、根固工18.9㎡、モルタル吹付工139.2㎡、覆式落石防護網工200㎡				
「沖縄21世紀農林水産業振興計画」における位置づけ	基本項目	6	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
	具体項目	(2)	自然環境に配慮した森林・林業の基盤整備		
	具体施策	イ	森林の保全		
個別整備計画等の内容	うまんちゅの森づくり(沖縄県森林・林業アクションプラン) 第3章 3-(1)多様で健全な森林の保全、第5章 (1)-⑤-A				
事業概要	当該箇所は、昭和61～63年度に施工された落石防護柵が腐食し強度低下が確認された箇所である。また、斜面上部においても、亀裂が生じ、落石の危険がある岩塊が確認されている。このため、既設落石防護柵の腐食箇所の撤去・設置並びに落石予防工により山腹斜面の安定を図る。				
II 評価					
①事業の必要性・効果	(1) 必要性	渡嘉敷村立小中学校裏の落石防護柵(昭和61年度～63年度施工)について、令和元年度に点検調査を行ったところ、腐食による防護柵の強度低下が確認された。また、斜面上部には亀裂が生じ、落石の危険がある岩塊が新たに確認されている。このまま放置すれば腐食や亀裂などの進行により学校や地域住民に落石の危険が及ぶ恐れが高いことから、治山施設の新設と併せて既存施設の長寿命化を行う必要がある。			
	(2) 効果	本事業の実施により、山地災害を防止し地域住民の人命・財産の保全が図れる。			
	(3) 地元の要望及び調整状況	地元からの要望もあり、渡嘉敷村役場との調整も済んでいる。			
	判定	A	A: 現状の課題等から事業実施の必要性があり、地元の受け入れ体制も確立している。 B: 現状の課題等が十分把握されていない。または地元の受け入れ体制が確立していない。		
②事業の費用対効果等	(1) 費用対効果(単位:千円)	効果項目	効果額	概要	
		災害防止便益	660,851	治山事業を実施しない場合に想定される災害発生により、被害を受ける可能性がある範囲内に存在する公共施設及び人家等の保全対象の評価額により評価する。	
		合計	660,851	基準年: 令和3年度 評価期間: 50年	
		総便益B	660,851	B/C 24.99	計算式 660,851/26,441=24.99
		総費用C	26,441		
	(2) 費用対効果未記載の理由	-			
判定	A	A: 十分な事業効果が期待できる。 B: 十分な事業効果が期待できない。			
		【理由】 費用対効果結果から当該事業実施は妥当である。			

③事業の実効性	(1) 事業計画 (予定)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>測量</td> <td></td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費(千円)</td> <td colspan="5">27,500</td> </tr> </table>						R3	R4	R5	R6	R7	工種区分	測量		↔				工事		↔																総事業費(千円)		27,500				
		R3	R4	R5	R6	R7																																						
	工種区分	測量		↔																																								
工事			↔																																									
総事業費(千円)		27,500																																										
(2) 関係機関等との調整状況	事業実施について、渡嘉敷村と調整済みである。																																											
判定	<p>A A: 事業計画の実効性が期待できる。 B: 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 事業実行に必要な保安林指定の同意は完了している。</p>																																											
④自然環境への配慮等 (加点対象項目)	(1) 自然環境への配慮	自然回復の図れる工法を検討する。																																										
	(2) 多面的機能の維持等	森林は、生物多様性保全、地球環境保全、土砂災害防止、土壌保全、水源かん養、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、物質生産機能等多面的機能を有しているため、その維持が図れる。																																										
	(3) 防災・減災効果等	山地災害防止機能の強化が図れる。																																										
	(4) 第三者の意見聴取	特に該当無し。																																										
	(5) コスト縮減の取組	特に該当無し。																																										
	(6) 事業内容の先導性	特に該当無し。																																										
Ⅲ 評価結果																																												
評価結果	判定	<p>A A: 事業実施が妥当である。:上記①～③の評価ですべてA判定であるもの。 B: 上記以外のもの。</p> <p>【理由】 上記①～③の評価で全てA判定であることから当該事業実施は妥当である。</p>																																										

事前評価調書

I 事業概要					
所管課	森林管理課		事業実施課	森林管理課	
事業名	予防治山事業		予定工期	令和4年度～7年度(4年間)	
地区名	座間味地区	市町村名	座間味村	事業主体 沖縄県	
事業費	79,884 千円		補助率等	国90%、県10%	
整備数量	谷止工3基、地山補強土工231.9㎡				
「沖縄21世紀農林水産業振興計画」における位置づけ	基本項目	6	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
	具体項目	(2)	自然環境に配慮した森林・林業の基盤整備		
	具体施策	イ	森林の保全		
個別整備計画等の内容	うまんちゅの森づくり(沖縄県森林・林業アクションプラン) 第3章 3-(1)多様で健全な森林の保全、第5章(1)-⑤-ア				
事業概要	座間味集落上部に位置する溪流であり、侵食による基岩の露出や過去の崩壊による不安定土砂の堆積等が確認できる。そのため、谷止ダムを設置することで、溪床の安定および土砂流出の抑制・調整を図り、山地災害を未然に防止する。				
II 評価					
①事業の必要性・効果	(1) 必要性	当該箇所は、侵食により基岩が露出し、溪床勾配が急であり、溪流内に過去の崩壊跡が複数確認できる。豪雨により溪流内で崩壊が発生した場合、その土砂は一気に溪流を駆け下り、下流の幼小中学校の含む座間味集落へ流出する恐れがあるため、災害防止の対策をする必要性がある。			
	(2) 効果	本事業の実施により、県民の人命・財産の保全が図れる。			
	(3) 地元の要望及び調整状況	地元からの要望もあり、村役場、区との調整も済んでいる。			
	判定	A	A: 現状の課題等から事業実施の必要性があり、地元の受け入れ体制も確立している。 B: 現状の課題等が十分把握されていない。または地元の受け入れ体制が確立していない。 【理由】 本事業により、山地災害の防止を図り、地元住民の人命・財産が保全される。地元との調整も行っている。		
②事業の費用対効果等	(1) 費用対効果(単位:千円)	効果項目	効果額	概要	
		災害防止便益	514,198	治山事業を実施しない場合の山腹崩壊、土石流、地すべり等による災害発生による想定被害額を算定し、これを便益として評価する。	
		合計	514,198	基準年:令和3年度	評価期間:50年
		総便益B	514,198	B/C	6.96
	総費用C	73,899	計算式 514,198/73,899=6.96		
(2) 費用対効果未記載の理由	-				
判定	A	A: 十分な事業効果が期待できる。 B: 十分な事業効果が期待できない。 【理由】 費用対効果結果から当該事業実施は妥当である。			

③事業の実効性	(1) 事業計画 (予定)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>測量</td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費(千円)</td> <td colspan="4">89,080</td> </tr> </table>						R4	R5	R6	R7		工種区分	測量	↔				工事		←		→											総事業費(千円)		89,080			
		R4	R5	R6	R7																																		
	工種区分	測量	↔																																				
工事			←		→																																		
総事業費(千円)		89,080																																					
(2) 関係機関等との調整状況	座間味村及び座間味区との調整は実施済み。																																						
判定	<p>A A: 事業計画の実効性が期待できる。 B: 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 事業実行に必要な保安林指定の同意は完了している。</p>																																						
④自然環境への配慮等 (加点对象項目)	(1) 自然環境への配慮	景観になじむように、谷止工に木材を利用する。 工事用道路は、自然改変が最小になるような線形を検討する。																																					
	(2) 多面的機能の維持等	森林は、生物多様性保全、地球環境保全、土砂災害防止、土壌保全、水源かん養、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、物質生産機能等多面的機能を有しているため、その維持が図れる。																																					
	(3) 防災・減災効果等	山地災害防止機能の強化が図れる。 災害発生時に地元住民の生命の安全が期待できる。																																					
	(4) 第三者の意見聴取	特に該当無し。																																					
	(5) コスト縮減の取組	木材資材の利用によりコスト削減が期待できる(メーカー調べ)。 不陸地運搬車や4tダンプトラック等、使用する機材を工夫し、施工面積を小さくすることで、コスト削減が期待できる。																																					
	(6) 事業内容の先導性	特に該当無し。																																					
Ⅲ 評価結果																																							
評価結果	判定	<p>A A: 事業実施が妥当である。:上記①～③の評価ですべてA判定であるもの。 B: 上記以外のもの。</p> <p>【理由】 上記①～④の評価で全てA判定であることから当該事業実施は妥当である。</p>																																					